



園長だより

第11号



最終号



新渡戸文化子ども園
平成27年3月13日

「ものは取りよう」と「夢」

年長組保護者の皆様、ご卒園おめでとうございます。
年少組、年中組保護者の皆様、ご修了おめでとうございます。

毎日の卒園式の練習時に、子ども達がつぶらな瞳で真っ直ぐに見上げるその手に証書をお渡しするたびに、「おめでとう」と心から思っています。

思えば、卒園のお子様方が約2歳、年中組のお子様方が約1歳、年少組のお子様方が生後数か月ぐらゐの時に東日本大震災がございました。子育ての一番大変な時期に、ご両親様にとりまして大変なご苦労だった事を考えると、これまでの成長にお喜びのことと存じます。

先日、お給食のから揚げを作った時に、こんなことがありました。

「からあげは美味しかったのだけれど、お味噌汁のおかわりをしたらこぼれてしまって、いち大事だった。たいへんだった！」と、年長組の子がお話をしてくれました。

「そう。お味噌汁が手にかかって熱かったりしなかった？」

「うん。」

「じゃあ良かったわね。こぼれて熱い思いをしなかったのだから良かったのよ。こぼれたら拭けばいいのだし、何か壊れたら考えて直せばいいのだから、良かったのよ。」

「(そうかの納得の表情で) うん。」

<<ものは取りよう、考えよう>>

思い通りにいかずに年少の時には泣いていたお子様も、ものは取りようで「あ、そうか」と納得できるようにまで成長しているのだと大変うれしく思いました。

「大きく変わってしまった、思い通りにいかない、予定通りにいかなかった、病気になってしまった等々」と嘆くより、それによって良かった点を口にし考える繰り返しを経験させ、その「結果」をきちんと言葉でコメントを返してあげる。

まずは大人が前向きな発言を心がけ、明るい雰囲気作りを心がけることが大切ですね。

そんなことを思っていたら、下記のような「夢」をつぶやきしてくれた年長さんがおりました。どうか、未来に向かって前向きな大人に(*園に帰ってきてね。待っています。*)成長してほしいと心から願っております。

つぶやき (年長女兒)

Aちゃん「私、大きくなったらここに(園に)帰ってくる!!」

先生「え?また幼稚園に来るの?」

Aちゃん「違うの!ここで働くから帰ってくるのよ!」

先生「ええええ?」

Aちゃん「鮎子先生のように、給食の先生になってお料理するの」

先生(笑顔)

つぶやき (年長男児)

B君「僕も、大きくなったら、この園に戻ってきて働くの。」

先生「何をやるの?」

B君「磯部先生みたいな先生になるの。」

先生(涙。。。。)

